

延岡市立地適正化計画（案）に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和6年12月6日～令和6年12月27日

○結果：提出者5名 提出された意見11件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
1	誘導区域	P23 方針3に関して、今まで住み慣れ親しんだ所で安心を得た。誘導区域に移住するための費用はどのようにするのだろうか。	<p>本市におきましては、今後も人口減少や少子高齢化の進行が予測されており、このままの状態では市街地における人口密度が低下し、様々な生活サービスの低下や公共交通の衰退等の問題が顕在化するなど、市民生活の質および都市の持続性や活力の低下が懸念されます。また、近年、頻発・激甚化する自然災害や南海トラフ地震等に対応した、災害に強いまちづくりが必要とされています。</p> <p>そのため、一定の人口密度を保ち、安全や暮らしやすさが確保される持続可能なまちづくりを進めるためには、居住や都市機能の誘導が必要であると考えております。</p> <p>ただし、本計画は、短期的または強制的に進めていくものではなく、長期的視点でゆるやかに誘導する必要があることをご理解いただき、行政と住民の方々、民間事業者の方々などが一体となってまちづくりを進めるためのものです。居住の誘導に向けた支援策等につきましては、今後、検討を進めて参ります。</p>
2	誘導区域	居住誘導区域以外に住む人は、居住誘導区域に移動していくというのであれば、ある程度の御世話をしないと高齢者は住み慣れた場所を離れる事はしないと考えられる。	
3	誘導区域	P45 浸水が予想される区域が居住誘導区域になるのでしょうか。とすれば避難のための高層建物が必要になる。	<p>本市は市街地の多くが洪水や津波等による浸水想定区域になっておりますが、既に市街地が形成され、多くの都市機能や居住が分布していることから、すべてを誘導区域から除くことは困難です。このため、避難場所が近くにあるなど、災害リスクの低減が図られる区域について、誘導区域に設定しております。</p>
4	誘導施策	<p>コメダ珈琲ができたのは個人的に良かったが、日向市や他県にもあるので継続して客が入るかどうか不安。また、学生時代の県外の友達が延岡に来た時に遊ぶ施設がないからすることがない。(ラウンドワン等)</p> <p>また県外へのPRもSNS等を使ってもっと行くと観光客が増えたり、移住して来る人が増えると思う。</p>	<p>本市では、現在、「(仮称)延岡市アーバンスポーツパーク」の整備など、若者が将来「住んでみたい、働いてみたい、子育てしてみたい」と思える魅力あるまちづくりを進めております。いただいたご意見は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p> <p>また、観光や移住に関する様々な施策にも取り組んでおりますので、引き続き魅力発信ポータルサイト等を活用しながら県内外へのPRに努めて参りたいと思っております。</p>

延岡市立地適正化計画（案）に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和6年12月6日～令和6年12月27日

○結果：提出者5名 提出された意見11件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
5	誘導施策	20年はすぐ来ます。30～50年後につなげます。少子化で一番大事なことは、若者が多く集まり学ぶこと。何よりも楽しい場所を(遊ぶスポーツ、趣味、下手な人も入りやすい事)何ヶ所も作る。立派な施設は不要。時には大人も若者と交流する。時間のかかる作業とは思いますが、地域の1つの試みとしてどうでしょう。人口増となり、活力、成長を促すものと考えます。	ご意見のとおり市民交流の場の創出は、地域コミュニティの活性化やまちのにぎわい創出に向けた重要な取り組みの一つと考えており、本市でも「(仮称)延岡市アークスポーツパーク」を新たに整備するなど、その視点に立った取り組みを行っておりますので、今後施策を進める上でご意見を参考にさせていただきます。
6	誘導施策	P23 方針1に関して、マイカー依存を減らしは賛成だが、公共交通があまりにも不便である。バス会社等と連携をして充実確保をはかる為の施策が必要である。	ご意見のとおり利便性の高い公共交通サービスを提供することは重要であるとと考えており、延岡市地域公共交通計画に基づき、新たに北部・南部まちなか循環バスの実証運行を行うとともに、市内各地において、乗合タクシーの運行や、地域の方々が運転手役を担って官民連携により、きめ細かい交通網をつくる「地域住民連携型有償運送構築事業」も展開するなど、利便性向上に向けた様々な取り組みを行っております。
7	誘導施策	P23 方針2に関して、今でもエンクロス等は楽しい場所である。ところが、日曜日は交通機関がない。例えば1時間に1往復できるバスがあれば利用する可能性が高い。あるいは、地域で乗り合わせ等に何らかの少しの補助でもできれば良いと思う。歩いて楽しい場所は自然いっぱいでも沢山ある。	一方で、利用者の減少や運転士不足等の課題もありますので、将来にわたり市民・来訪者の移動や生活を支えるため、延岡市地域公共交通計画等との相乗効果を発揮させて、公共交通の利便性向上や外出して楽しい(歩きたくなる)まちづくりを目指した施策を進めて参ります。
8	誘導施策	延岡に越してきて約2年ですが、外出先等で自然災害等あった場合どこに避難すればいいのかイマイチ分かりません。 子どもが1人いますが、交通量の多い道路を安全に渡れているのか不安です。地域の方が朝は見守ってくれているので少し安心ですが、どこへ行くにも車が多く、時間が掛かるように思います。 野口記念館がありますが、何の建物かよく分かっていません。 保育施設を増やしてほしいと思います。病後児施設等あれば子育てしやすいです。知らないだけかもしれませんが。	本市では、全ての世帯に「ハザードマップ」や「わが家の防災ハンドブック」を配付するなど、避難場所についてもお伝えをしています。また、「逃げ遅れゼロ」のまちを目指して令和5年8月に「第2次津波避難施設等整備計画基本方針」を策定・公表し、避難場所の無い4地区での避難施設整備を現在進めているところです。 本市の避難場所や保育施設、公共施設などの情報はホームページやのべおかeマップなどでご覧いただけます。中でも「子育て」については、ホームページの「子育てポータルサイト」にて「妊娠・子育て」等に関する様々な情報をまとめてご覧いただけます。また、防災・子育て・健康などに特化したアプリ(防災のべおか、すくすくワクチンなど)もありますので、ご活用いただければと思います。 さらには、保育施設についても定員は概ね確保されているとともに、病児・病後児保育もそれぞれ2ヶ所ずつあるなど、子育て支援施設も充実しています。これらの情報については、「すくすくワクチン」などでもご覧いただけますので、ご利用いただければと思います。 災害時は、行政が行うことには限りがございます。市民の皆様には災害時をイメージし災害時の対応を考え、日頃より備えていただきたいと思います。「わが家の防災ハンドブック」をご参考にしてください。 今後も引き続き分かりやすい情報発信に取り組んで参りますが、生活の中でご不安なことやご心配なことがありましたら、気軽に市役所へお尋ねください。

延岡市立地適正化計画（案）に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和6年12月6日～令和6年12月27日

○結果：提出者5名 提出された意見11件

No.	意見の分類	意見の概要	市の考え方
9	誘導施策	<p>P13 「産業」上位計画及び関連計画での位置づけの中で「新たな産業団地の整備を進めます。」に関して、天下地区住民との話し合いがまだ、できていない。質問にも答えていない。推進ではなく、検討中とすべきである。測量をして、大多数の住民が反対の意思を表面した原案に代わるものを示すという事になっているが、その回答ははまだ出されてはいない。</p> <p>天下町の浸水区域の人達は工業団地ができれば、更に被害が大きくなる事が予想されるがどうするのか。</p>	<p>今回の整備予定地は、平成7年度に公表した「クレーパーク延岡」の基本計画の中で「流通団地ゾーン」として位置付けており、現在の「第6次延岡市長期総合計画の基本構想」においても、「継続的な整備を進め、産業拠点の形成に努める」としていることから、新たな産業団地の整備を推進という表現になっております。</p> <p>また、令和5年7月の住民説明会において、地元住民の方々から頂いた意見をもとに改めて計画案を作成し、令和6年8月には計画予定地近隣住民に対しての説明会も開催しました。変更した計画案は、区長や役員の方々などにその都度確認してもらい意見を伺っています。今年度中には地域全体の説明会を開催し、地元の方々の意見を反映された計画案や完成図をイメージしたAR（タブレット越しに風景を見ると現実に完成イメージが現れるもの）をお示しするよう現在制作作業を行っています。</p> <p>浸水区域につきましては、新たな産業団地を整備することで、整備前まで森林や農地が涵養していた雨量を計算し、その増加分の雨量を溜めることができる調整池を新たに設けるなどの対策を実施するとともに、昨年6月にまとめ、公表した「令和4年度台風14号浸水メカニズム検証報告書」に基づき天下地区においてポンプまたは宅地嵩上げによる対策を検討していくことも公表しておりますので、今後その考えに基づき必要な対策を行って参ります。</p>
10	都市計画	<p>人口が長期的に減少していく中、市街地を再編していく「立地適正化計画」は都市としての機能を維持するいい計画だと思います。</p> <p>都市をコンパクトにしていくには、この計画と併せて、市街化区域と市街化調整区域の見直しが必要と思います。人口が増える時代は都市基盤の整備を担保に市街化区域を拡大していましたが、今は人口減少時代です。都市の縮小を、逆線引きを考えられませんか。</p> <p>市の都市計画の施策の中には、人口拡大を念頭にした、独自の制度(市街化調整区域の地区計画)があります。見直を願います。</p>	<p>都市計画制度及び立地適正化計画制度の運用の中で、社会情勢や人口減少の動向を注視し、持続可能なまちの実現を目指して参りたいと考えております。</p> <p>また、「市街化調整区域の地区計画」につきましては、国の考え方に基づき、制度の運用に関する基本方針を定め、それをもとに運用基準を平成17年（平成22年改正）に策定しておりますが、今後、見直しの必要性について研究して参ります。</p>
11	計画書の表現	<p>P24 目指す都市の骨格構造の図は文字が小さすぎて読めなかった。</p>	<p>見やすい資料作成に努めます。ご意見ありがとうございます。</p> <p>なお、P24の図につきましては、延岡市都市計画マスタープラン及び延岡市地域公共交通計画からの引用となりますので、詳しくはそちらをご覧くださいませようお願いします。（それぞれ「延岡市都市計画マスタープラン」及び「延岡市地域公共交通計画」で検索してご覧いただけますようお願いいたします。）</p>